

## むすび

私たちがめざすものは、新しいJR東日本グループの実現です。

経営環境は一層厳しくなると予測されます。

これまで以上に不確実性の高まる社会経済のもとで、  
企業の実力が問われますが、それは、次代への成長に向けた  
大きなチャンスでもあります。企業がこれを好機と捉えて  
活かすことができるかどうかは、ひとえに夢に向かって  
「挑む」力の強さにかかっています。

鉄道を中心とした私たちの事業は、  
長期的な視点からの経営判断を積み重ね、  
堅実に運営していくことが重要ですが、  
あわせて、柔軟かつスピード感のある経営を今まで以上に  
意識して行っていくことが求められています。

私たちは、自らの存在意義を明確にし、世の中の潮流を見据えた上で、  
守るべき価値を守りつつ、あるべき姿に向けた自己の改革に  
大胆に挑戦していきます。

### 将来の見通しの記述について

この資料に記載されているJR東日本グループの現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものはJR東日本グループの将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、JR東日本グループの実際の経営成績、業績などはこのレポートに記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には以下のようなものなどが含まれます。

①鉄道事業の現在の利用者数を維持または増加させるJR東日本グループの能力、②鉄道事業その他の事業の収益性を改善するJR東日本グループの能力、③鉄道事業以外の事業を拡大するJR東日本グループの能力、④日本全体の経済情勢や法規制、日本政府の政策など。